

平成 30 年度

上下水道事業部の運営方針

<部の構成>

上下水道計画課、浄水課、上水道工務課、上水道保全課、汚水整備課、雨水整備課、下水道施設維持課

<担当事務>

- (1) 局の総合計画及びその調整に関すること。
- (2) 水道及び下水道の整備に関すること。
- (3) 局の工事の検査及び審査に関すること。
- (4) 局の危機管理に関すること。

<部の職員数>H30年4月1日現在

正職員	130 名
再任用職員	25 名
任期付職員	- 名
非常勤職員	3 名
合計	158 名

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く

1. 基本方針

上下水道局では、市民生活に欠かせない、安全でおいしい水道水を安定供給するための水道事業と、水環境の保全、大雨などによる浸水被害から市民生活を守る下水道事業に取り組み、市民にとって安全・安心で快適な暮らしにつながる施策・事業を実施しています。

上下水道事業部では、水道事業において老朽化が進む中宮浄水場の更新事業や、鷹塚山配水場及び送配水管などの基幹施設の更新や耐震化を実施します。また、今後の更新及び耐震化を効率的・効果的に進めるための上水道施設整備基本計画を策定します。

下水道事業では、住居系地域の汚水整備の概成に向けた整備を進めるとともに、雨水整備では、雨水貯留施設やポンプ場などの整備を進めます。また、新たに下水道ストックマネジメント計画を策定するなど、長寿命化に向けた取り組みを進めます。

2. 重点施策・事業

(1) 水道施設等の更新・耐震化事業及び上水道施設整備基本計画の策定について

方向性

水道水を安定的に供給するため、水道施設・管路の更新及び耐震化を効率的・効果的に取り組みます。また、上水道施設整備基本計画を策定します。

取り組み

水道管路については、更新及び耐震化事業を進めるとともに、鉛製給水管の取替えを行います。また、平成 28 年度に着手した鷹塚山配水場更新工事を継続し、津田低区配水場耐震化工事にも着手します。あわせて、上水道施設整備基本計画の策定にあたっては、上下水道経営部と連携を図りながら、取り組みを進めます。

《目標値》

耐震性能を有する水道管路の割合 23.3% (参考：平成 28 年度 22.3%)

平成 30 年度当初予算：3,984,800 千円

<鷹塚山配水場 イメージ図>



(2) 中宮浄水場更新事業

方向性	持続可能な水道を実現するための重点施策として、新たに建設する浄水場からの給水を平成 37 年度から開始することを目途に中宮浄水場の更新事業を進めます。
取り組み	基本設計の中で、枚方市 PPP/PFI 手法活用優先的検討の基本方針等に基づき第 3 次検討を実施し、事業手法の選定を行うなど民間活力の活用に向けた取り組みを進めます。 平成 30 年度当初予算：392,100 千円

(3) 公共下水道汚水整備事業

方向性	河川や水路、ため池などの水質汚濁防止を図り、安全で良好な生活環境が確保されたまちをめざすため、公共下水道の整備を進めます。また、工場等事業所系の汚水整備については、事業者の整備意向等を踏まえながら、効率的・効果的な手法で水循環の保全を図ります。
取り組み	住居系地域の汚水整備については、概成年度を迎えるにあたり、昨年度に引き続いて中部及び東部地域を中心に整備を進めるとともに、未承諾地区や整備困難地区の解消に取り組みます。また、工場等事業所系の汚水整備については、平成 27 年度に着手した枚方工業団地において、今年度完成に向け整備を進めます。 《目標値》 整備人口普及率 97.1% (参考：平成 28 年度 96.1%) 平成 30 年度当初予算：1,884,010 千円

(4) 下水道施設の長寿命化対策について

方向性	市民生活の安全確保を図るため、予防保全型を重視した計画的な下水道施設の改築・更新を推進し、下水道施設の長寿命化と維持管理に係るライフサイクルコストの最小化を図ります。
取り組み	平成 28 年度に策定した汚水管渠及びポンプ場遠方監視設備の下水道長寿命化計画に基づき、平成 29 年度に実施設計を行い、今年度から改築工事に取り組みます。また、下水道施設全体を一体的に捉え、計画的な点検・調査及び改築・修繕を進めることを目的とした下水道ストックマネジメント計画を新たに策定します。 平成 30 年度当初予算：358,800 千円

(5) 浸水対策について

方向性	近年の計画降雨を上回る集中豪雨対策として、下水道浸水被害軽減総合計画に基づき、蹠跎排水区及び楠葉排水区において雨水貯留施設の整備を進めるとともに、下水道事業計画に基づき雨水管渠や雨水ポンプ場の整備を進め、浸水被害の軽減に取り組みます。
-----	---

取り組み	<p>蹠跎排水区については今年度、楠葉排水区については平成 32 年度の工事完了をめざし、雨水貯留施設の整備を進めます。また、新安居川・溝谷川ポンプ場の排水能力向上に向けた整備や雨水管渠等の整備を進めます。</p>	
	<p>＜シールドマシン（サダ雨水貯留管）＞</p> 	<p>＜新安居川ポンプ場の施工状況＞</p> 
	<p>平成 30 年度当初予算：4,630,556 千円</p>	

3. 行政改革・業務改善

◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
31. 水道施設の計画的な整備・更新	財政収支の見通しを踏まえ、アセットマネジメント手法を導入した上水道施設整備基本計画を策定します。また、中宮浄水場の更新については、効率的・効果的な施設の更新・運用を図る観点から民間活力の活用に向け取り組み、平成 37 年度の給水開始をめざします。
32. 下水道施設の長寿命化	下水道施設全体を一体的に捉えて、計画的な点検・調査及び改築・修繕を進めるため、下水道ストックマネジメント計画を策定します。
45-8. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（上水道施設維持管理業務）	漏水修繕業務については、引き続き民間事業者への漏水修繕工事の受注状況を検証し、今年度中に外部委託のあり方と直営体制について方針を示します。
45-9. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（下水道施設維持管理業務）	浸水災害対応時のポンプ場の運転管理を基本に職員を配置していますが、初期自動化や遠方監視設備の導入による運転状況を踏まえた中で、適正配置に向けて引き続き見直しを検討します。

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
工事発注等に係る事務処理の改善	既存のチェックシートを更新して活用することにより、業務の効率化を進めるとともに、部内に「上下水道事業部設計積算適正化検討部会」を設置し、定期的に設計積算ミス防止に係る対策や研修の実施、情報交換等を行い、事務処理の正確性を確保します。

テーマ	取り組み内容・目標
危機管理体制の充実	危機管理マニュアルに基づいて、台風による大雨や地震などの自然災害、漏水事故等による断水に備え、速やかに対応できるように、定期的な訓練を実施します。また、民間事業者や関係機関等との災害支援協定の拡充に向けた取り組みを進めます。

4. 予算編成・執行

- ◆水道事業については、災害に強い持続可能な水道をめざすとともに、これまで以上の経営の効率化・財政基盤の強化に向けた取り組みを進めます。
- ◆下水道事業については、整備事業に国費を活用するとともに、経費削減に努め、経営の効率化を図ります。

5. 組織運営・人材育成

- ◆老朽化した上下水道施設について、事故等を未然に防ぐ予防保全型の維持管理や、計画的な改築・更新を図るために、効率的・効果的な組織運営に努めます。
- ◆水道・下水道事業を将来にわたり安定して継続するためには、企業経営と事業戦略の両面からの取り組みが不可欠であることから、情報の共有化を促進するなど、上下水道局内の連携強化を図ります。
- ◆水道・下水道事業が、お客さまの信頼の上に成り立っていることを、全職員が再認識し、服務規律の確保を徹底していくため、人権尊重を含めたコンプライアンスの浸透・定着に向けた取り組みを継続的に行っていきます。
- ◆水道・下水道の将来を担うエキスパート職員を長期的視点で育成するとともに、部内のジョブローテーションや専門研修等を活用し、職員の資質や能力の向上に努めます。

6. 広報・情報発信

- ◆水環境教育における浄水場見学の推進
枚方市立小学校に対し、水環境教育の一環として、生活に必要な水道水がどのように作られているか等を学習してもらうため、浄水場の見学を推進しています。
- ◆下水道事業の見える化
市民の皆様が安心し、より身近に感じてもらえるよう、浸水対策事業等についてホームページやリーフレット等の活用により、下水道事業の見える化を進めます。また、ホームページによる工事の進捗状況のお知らせや現場見学会を実施するなどの情報発信を行います。

